

三重県知事のベトナム・タイ訪問（1月16日）の概要について

一見知事は、1月16日（木）に、計画投資省を訪問し、産業連携にかかる覚書（MOU）を締結したほか、在ベトナム日本国大使館、JETRO（日本貿易振興機構）ハノイ事務所を訪問し、本県とベトナムの継続的な関係発展に向けた意見交換を行いました。また、JNTO（日本政府観光局）ハノイ事務所及び現地旅行会社を訪問し、本県へのインバウンド誘客に向けた意見交換を行いました。

1 在ベトナム日本国大使館 訪問

(1) 場所 在ベトナム日本国大使公邸（ハノイ市内）

(2) 出席者

(相手方) 在ベトナム日本国大使館

特命全権大使 伊藤 直樹

次席公使 石川 勇

一等書記官 石井 俊久

三等書記官 廣松 光貴

(三重県) 知事 一見 勝之

雇用経済部長 松下 功一 ほか

(経済団) 三重県商工会議所連合会 ほか

(市 町) 桑名市副市長 水谷 準 ほか

(3) 概要

- ① 一見知事は、在ベトナム日本国大使館を訪問し、現地事情のブリーフィングを受けるとともに、人材確保・産業連携等にかかる今後の三重県とベトナムの継続的な関係発展に向けた意見交換を行いました。
- ② 伊藤大使からは、「今般のMOU締結がベトナムにおける三重のブランドイメージを高め、様々な取組を前に進めるきっかけとなることを期待する」旨、述べられました。
- ③ 一見知事からは、「今回の視察を通じて、ベトナムの人材の豊富さと商圏としての成長を実感している。大使館の力もお借りしてベトナムと三重との関係を強くしていきたい。」旨、述べました。
- ④ また、経済団団長の三重県商工会議所連合会 伊藤会長からは、日本の半導体分野へのベトナム人材の進出状況について質問がありました。伊藤大使からは、「ベトナムはまだ半導体分野の技術者が育っていない。国としては、2030年までに半導体の人材を5万人育成するという目標を掲げているので、これか

らである。まずは外国で信頼され、その人が技術を持って、今度はベトナムでさらに半導体企業が投資をした際に使えるような人材にする。そうした循環を、政策的に進めていくということである。」旨、述べられました。



(伊藤大使の挨拶)



(大使公邸での記念撮影)

2 計画投資省との覚書（MOU）締結

(1) 場所 計画投資省（ハノイ市内）

(2) 出席者

(相手方) 計画投資省

副大臣 グエン・ティ・ビック・ゴック

在大阪ベトナム総領事館 ゴー・チン・ハー 総領事

(同席者) 在ベトナム日本国大使館

次席公使 石川 勇

(三重県) 知事 一見 勝之

雇用経済部長 松下 功一 ほか

(経済団) 三重県商工会議所連合会 ほか

(市 町) 桑名市副市長 水谷 準 ほか

(3) 概要

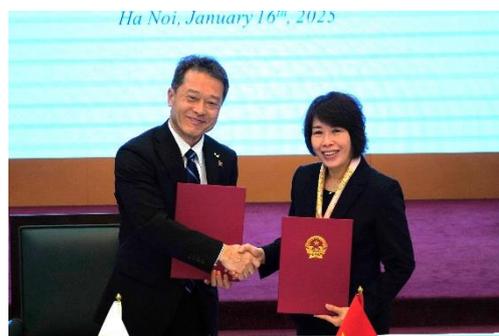
- ① ベトナムと諸外国の間の投資活動等を所管する計画投資省と連携し、三重県とベトナムの企業の投資・経済活動等を支援・促進するため、経済連携に関する覚書を締結しました。
- ② 一見知事からは、「三重県は、『ものづくり』が非常に盛んであり、自動車、半導体、石油化学など様々な産業が集積している。特に、電子デバイスの製造品出荷額は19年連続で全国1位であり、経済産業省が、日本の中で半導体分野の振興に向けた重点地域として選んだ5か所のうちのひとつである。また、現状、三重県からベトナムへは約25社の企業が進出しているが、三重県が県内企業4,000社を対象として行ったアンケートの『今後の海外展開先として、興味のある国・地域』の項目において、ベトナムは国・地域別で1位である。本

日、ベトナムと三重県との産業連携を深めていくためのMOUを締結させていただき大変光栄である。これをきっかけにベトナムと三重県の間でのビジネス交流が拡大していくことを期待している。」と述べました。

- ③ ゴック副大臣からは、「ベトナムは国家、各省庁、地方自治体の各レベルで、日本との友好・協力関係を大事にしている。三重県は、半導体等ハイテクなものづくりの分野で日本の一流と認識している。ベトナムとしても協力関係を優先していきたい分野であり、三重県企業との連携を支援したい。今般のMOU締結は重要な意味を持っており、今後の協力関係の原動力となるものである。近々、省庁の再編があるが方針は変わらない。積極的に取組を推進し、実質的な成果を生み出していきたい。」旨の発言があり、三重県とベトナムの連携関係の構築を歓迎するとともに、両者の企業間のビジネス活動の拡大に意欲を示されました。



(締結式の様子)



(MOU締結の様子)



(意見交換の様子)



(記念撮影)

3 JNTO（日本政府観光局）ハノイ事務所 訪問

(1) 場所 JNTO（日本政府観光局）ハノイ事務所（ハノイ市内）

(2) 出席者

(相手方) JNTO（日本政府観光局）ハノイ事務所
所長 松本 二実 ほか

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか

(市 町) 桑名市副市長 水谷 準 ほか

(3) 概要

- ① 一見知事は、ベトナムからの訪日インバウンド誘客を実施する JNTO（日本政府観光局）ハノイ事務所を訪問し、ベトナムの訪日旅行事情に関してブリーフィングを受けるとともに、将来的なインバウンド誘客に向けた意見交換を行いました。
- ② 松本所長は、ブリーフィングにおいて、「ベトナム人観光客は、団体行動が基本であり徒歩移動が多い行程は好まれない。また、写真映えスポットが人気で、写真撮影の時間を多く確保する必要がある。体験については、果物狩りなど手軽な内容が人気。言語の不安を感じる方が多く、ベトナム語の案内があると喜ばれる。」など、受入のポイントを述べられました。
- ③ 意見交換において、一見知事からはベトナム市場における伊勢神宮や伊賀忍者などのセールス方法について尋ね、松本所長より「ベトナム人において寺社仏閣への関心は高いが、質の高いガイドをつけたツアーが必要。また、伊賀忍者については、忍者衣装体験など写真映えの切り口でロコミを広げていくことが有効。」と回答をいただきました。



(ブリーフィングを受ける一見知事)



(記念撮影 左から、一見知事、
JNTO ハノイ事務所 松本所長、
桑名市 水谷副市長)

4 JETRO（日本貿易振興機構）ハノイ事務所 訪問

- (1) 場所 JETRO（日本貿易振興機構）ハノイ事務所（ハノイ市内）
- (2) 出席者
(相手方) JETRO（日本貿易振興機構）ハノイ事務所
所長 小篠 春彦 ほか
(三重県) 知事 一見 勝之

雇用経済部長 松下 功一 ほか

(経済団) 三重県商工会議所連合会 ほか

(市 町) 桑名市副市長 水谷 準 ほか

(3) 概要

- ① 一見知事は、JETRO（日本貿易振興機構）ハノイ事務所を訪問し、小篠所長から現地経済事情及び現地企業の動向等にかかるブリーフィングを受けるとともに、三重県とベトナムの経済交流等について意見交換を行いました。
- ② 一見知事からは、「ベトナムは海外展開先として県内企業からの関心が高い国の一つであり、今回のミッション及びMOUの締結をきっかけとして、相互の交流が拡大することを期待する。」旨、述べました。
- ③ また、経済団の三重県商工会連合会 安藤会長からは、海外展開を行う上でのポイントについて質問があり、小篠所長は、「現地で良いパートナーを見つけることが重要である。」と述べ、元技能実習生と組んでベトナムに進出している企業の実例を挙げて説明されました。



(ブリーフィングの様子)



(意見交換を行う一見知事)

5 現地旅行会社 訪問

(1) 場所 HANOI TOURIST TRAVEL COMPANY 社 (ハノイ市内)

(2) 出席者

(相手方) HANOI TOURIST TRAVEL COMPANY 社

副社長 チャン・フー・ビン ほか

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか

(3) 概要

- ① 一見知事は、ベトナムにおいて訪日旅行を扱う現地の大手旅行会社である同社を訪問し、三重県の観光魅力等について説明し、将来的な三重県旅行商品の造成に向けた意見交換を実施しました。

- ② 一見知事からは、ゴールデンルートを通るツアーに組み込みやすい御在所ロープウェイや関宿、伊賀忍者などを中心に説明し、雪や写真映えスポットの需要が高いベトナム人に対して訴求を図りました。
- ③ 同社からは、「ベトナム人は、忍者や昔ながらの日本の歴史文化を感じられる場所に興味を持つと思う。また、最近は若者の間で訪日旅行への関心が高まっている。」とお話をいただき、三重県で体験できるコンテンツや宿泊施設、ベトナム語対応が可能なガイドなどについて質問を受けました。



(三重県の観光魅力を説明する一見知事)



(集合写真。左から5番目一見知事、
6番目ビン副社長)